

# 福島町健康づくり推進計画 作成のためのワークシート

(アンケート調査結果のポイントを整理しました。住民の健康に関する現状(課題)について、委員の皆さんの実感をお聞かせください。  
また、目標・取組の方向についてもご意見をください)



平成19年10月

福島町町民課福祉グループ

**[1 健康状態や健康意識・BMI]**

委員の皆様が加える課題は？

アンケートから		課題	目標・取組の方向
成人	<ul style="list-style-type: none"> <li>■とりわけ 65 歳以降の無職の男性と漁業・農業従事者で“不健康”との自己評価。</li> <li>■中年期以降の健康増進の取組は高いが、内容としては男性は健康診断や飲酒・喫煙を控えることが中心。女性では食事に気をつけることや友人等との気分転換が主流。「継続して運動する」の取組の割合は低い。</li> <li>■ひとり暮らしや管理職等では「バランスの良い食事・食べ物の摂取」、漁業・農業従事者では「継続して運動する」が低い。</li> <li>■中年期以降の男性の2人に1人が腹囲 85cm 以上。高齢期以降の女性の4人に1人が腹囲 90cm 以上。</li> <li>■40 歳代男性の肥満の割合は、全国 34.1%に対し本町 50.0%と本町は肥満傾向にある。</li> <li>■適性体重を知っている住民は7割弱。道と同水準。</li> <li>■44 歳以下の男性は適性体重を知らない傾向。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的な健康増進への取組がなされていない。</li> <li>・特に“運動”への取組は低い。</li> <li>・正しい知識を得て、具体的な目標を立てて計画的に取り組む必要がある。</li> <li>・20代、30代の若い時から適性体重を知り、ウエストをチェックする習慣をつける必要がある。</li> </ul>	<p><b>【目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・正しい情報をつかむ、健康づくりを習慣にする</li> </ul> <p><b>【取組の方向】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●正しい情報を知ろう                     <ul style="list-style-type: none"> <li>➢住民や家族がすること</li> <li>➢町（行政）ですること</li> <li>➢団体ですること</li> </ul> </li> <li>●男女もウエストと体重をチェックする習慣をつけよう                     <ul style="list-style-type: none"> <li>➢住民や家族がすること</li> <li>➢町（行政）ですること</li> <li>➢団体ですること</li> </ul> </li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■健康に対する自己評価は性別や年齢によって様々。</li> </ul>	<p>ここは土地のことばで親しみやすくしましょう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・適性体重を知らないなど直感的な健康観で、知識不足。</li> <li>・ダイエットの低年齢化等、健康課題が小学校期から発生している。</li> </ul>	<p><b>【目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・正しい情報を伝える</li> <li>・家庭・地域・学校で望ましい生活習慣を教える</li> </ul> <p><b>【取組の方向】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●家庭・地域・学校を通してよりよい食生活や運動習慣をつくらう                     <ul style="list-style-type: none"> <li>➢住民や家族がすること</li> <li>➢町（行政）ですること</li> <li>➢団体ですること</li> </ul> </li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■健康とは「毎日が気持ちよく生活できる」「よく眠れる」「食事がおいしい」「からだが動かせる」「いきいきしている」「体力がある」など様々。</li> <li>■「からだが動かせる」「体力がある」は中学生男子の評価度が高く、女子で低い。「毎日が気持ちよく生活できる」「気持ちがいきいきしていること」は中学生女子で比較的评价度が高く、男子で低い。</li> </ul>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>■男子は“やせ”と感じる傾向、女子は“太め”と感じる傾向。</li> <li>■ダイエットした経験は女子で3割。</li> <li>■ダイエットをした時期は男女いずれも「中学校の頃」が多いが、女子では「小学校の頃」が3割弱にのぼる。</li> </ul>			
中高生			

## [2 栄養・食生活]

アンケートから		課題	目標・取組の方向
成人	<ul style="list-style-type: none"> <li>■毎日朝食を食べる住民は8割を超える。「ほとんど食べない」(欠食率)は8%、女性で7%、男性で11%。</li> <li>■道と比べ、男女共に朝食の欠食率が高い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝食を食べない習慣を解消する必要がある。</li> <li>・バランスのよい食事、塩分や糖分、油脂分摂取量への理解を高める必要がある。</li> <li>・生活にとって食事が重要であることを伝えていく必要がある。</li> <li>・食事を介して住民のつながりをもつことも検討に値する。</li> </ul>	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民一人ひとりが望ましい食習慣を身につける。</li> </ul> <p>【取組の方向】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●朝食をしっかり食べる習慣をつけよう               <ul style="list-style-type: none"> <li>➢住民や家族がすること</li> <li>➢町(行政)ですること</li> <li>➢団体ですること</li> </ul> </li> <li>●バランスよい食事を知ろう・つくろう               <ul style="list-style-type: none"> <li>➢住民や家族がすること</li> <li>➢町(行政)ですること</li> <li>➢団体ですること</li> </ul> </li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■朝食を食べないのは「食べない習慣」が圧倒的理由。特に45歳以降の男性にこの習慣が見られる。</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■主食・主菜・副菜の摂取頻度は中年期以降に比べて青・壮年期で低い。</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■野菜や海草・きのこ類の摂取頻度は青・壮年期の特に男性で低い。</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■脂肪摂取に対する意識は青・壮年期と中年期の男性で低い。</li> <li>■糖分・塩分の摂取に対する意識は、44歳以下の男性で低い。</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■高齢期の女性の4人に1人は“孤食”。</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■男性や若い世代で出来合いのおかず等を食べる傾向。</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■特に44歳以下の男性と65歳以降の男性は体重管理をしていない人が多い。</li> </ul>		
中高生	<ul style="list-style-type: none"> <li>■朝食の欠食率は道と比べ高い。朝食を食べない理由は、全国と同様、「時間がない」(56%)がトップ。</li> <li>■ふだんの食事が多いものは、朝食で「親がつくったもの」、昼食は「給食やお弁当」、夕食は「親がつくったもの」。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝食の欠食率が高い、好き嫌いがある、野菜不足など子どもの食習慣に問題がある。</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・望ましい食習慣を身につける</li> </ul> <p>【取組の方向】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●家族そろって朝食をとろう               <ul style="list-style-type: none"> <li>➢住民や家族がすること</li> <li>➢町(行政)ですること</li> <li>➢団体ですること</li> </ul> </li> <li>●食事や栄養を正しく理解する中高生を増やす               <ul style="list-style-type: none"> <li>➢住民や家族がすること</li> <li>➢町(行政)ですること</li> <li>➢団体ですること</li> </ul> </li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■道と比べ、孤食の割合は低いものの、朝食時の孤食は3割、夕食時の孤食は1割弱にのぼる。</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■食事時間が楽しいのは昼食。次に夕食。「何とも思わない」は朝食と昼食では半数を超えるが、夕食では4割に低下。男子は「何とも思わない」が顕著。</li> <li>■食事の時間が楽しくないとするのは朝食で7%、昼食で3%、夕食で5%見られる。</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■食事で直したいことは、好き嫌い、野菜不足、不規則な食事時間。</li> </ul>		

### 【3 運動】

アンケートから		課題	目標・取組の方向
成人	<ul style="list-style-type: none"> <li>■全体では道に比べ、意識的に運動している住民の割合は高いが、女性の44歳以下は運動していない人が半数以上で、その理由は「動くことが嫌い」。</li> <li>■1日あたりの平均歩数は、道を下回る傾向。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性の運動習慣が低い。</li> <li>・全道平均と比べ、歩かない傾向。</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動する習慣を身につける</li> </ul> <p>【取組の方向】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●適度な運動でハツラツと過ごそう               <ul style="list-style-type: none"> <li>➢住民や家族がすること</li> <li>➢町(行政)ですること</li> <li>➢団体ですること</li> </ul> </li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■外で遊ぶ男子は6割を超えるが、女子は3割にとどまる。年齢が上がるにつれ、減少する傾向。</li> <li>■スポーツをすることが「とても楽しい」とするのは男子で6割だが、女子では3人に1人程度。特に15-18歳の女子は「とても楽しい」が著しく低く、運動に対する意識は高くない。</li> <li>■学校の授業以外でスポーツをしていないのは、3分の1を超える。</li> <li>■全国と比べ、女子で運動していない割合が高い。</li> <li>■スポーツをしていない最も大きな理由は、「ほかにやりたいことがあるから」。「時間がない」「苦手」「きらい」が続く。</li> <li>■運動やスポーツへの希望は、「もっとしたい」が4割を超えて最も多い。女子でも4割を超える。特に低い年齢層で高い希望が見られる。</li> </ul>		
中高生			

#### [4 睡眠・ストレス]

アンケートから		課題	目標・取組の方向
成人	<ul style="list-style-type: none"> <li>■道と比較すると、睡眠による疲労回復効果が得られていない。</li> <li>■若年層、農業・漁業従事者と商工業自営者で睡眠による疲労回復効果が得られていない傾向。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若年層等に睡眠による疲労回復効果が得られていない。</li> </ul>	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・睡眠で休養がとれるようにする</li> </ul> <p>【取組の方向】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●自分にあった眠りのコツをみつけよう               <ul style="list-style-type: none"> <li>&gt;住民や家族がすること</li> <li>&gt;町(行政)ですること</li> <li>&gt;団体ですること</li> </ul> </li> </ul>
中高生	<ul style="list-style-type: none"> <li>■全体では就寝時間は午後 11 時台が4割。女子で午前1時台が1割を超えるなど、女子や年齢が高いほど就寝時間が遅い傾向。</li> <li>■平日の睡眠時間“6時間未満”が1割弱など女子や上の年齢ほど睡眠時間は短い傾向。</li> <li>■「授業中眠くなる」「朝起きるのがつらい」等の症状が見られ、8割は睡眠に関する問題を意識。特に女子で「ねてもつかれがとれない」など睡眠に関する問題が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夜遅くまで起きている子どもが少なくなく、学校生活にも影響している。</li> <li>・勉強や受験・進路などで悩みを抱えているが、友だちに相談するケースが多く、解消ができていないことも多い。</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的な生活習慣を身につけ、家族との会話を増やす</li> </ul> <p>【取組の方向】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●家族で早寝・早起きを心がけよう               <ul style="list-style-type: none"> <li>&gt;住民や家族がすること</li> <li>&gt;町(行政)ですること</li> <li>&gt;団体ですること</li> </ul> </li> <li>●学校・家庭・地域で子どものストレスの軽減を図ろう               <ul style="list-style-type: none"> <li>&gt;住民や家族がすること</li> <li>&gt;町(行政)ですること</li> <li>&gt;団体ですること</li> </ul> </li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■不満・悩み・苦勞・ストレスがあったとするのは女子と年齢の高い層で顕著。“勉強・受験・進路”が大きな原因。</li> <li>■「だれかに相談・話す」で解決する方法をとる子どもが半数以上、特に女子で顕著。男子は「運動する」「ねる」「テレビゲームをする」が多い。</li> <li>■悩み等を解消できていない子どもが6割を超える。特に女子で解消できていない。</li> <li>■悩み等の相談相手は「友だち」(6割強)が圧倒的に多い。「家族」は4割。「特にない」は男子で多い。</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■自分のことを“好き”といえる子どもは2割強にとどまる。特に女子で少ない。</li> <li>■自分の意見をいえる子どもは半数に届かない。</li> <li>■特に女子は人の言葉や行動に左右されやすい傾向。</li> <li>■相手の気持ちを考えて行動できると答える子どもは男女ともに半数に届かない。</li> </ul>		

アンケートから		課 題	目標・取組の方向
中高生	<ul style="list-style-type: none"> <li>■80%は、睡眠に問題を感じている。特に女子が多い。</li> <li>■毎日が楽しいとする子どもは3分の2にとどまる。年齢が上がるほど楽しいとする子どもは減少。</li> </ul>		

## 【5 たばこ】

アンケートから		課 題	目標・取組の方向
成人	<ul style="list-style-type: none"> <li>■44歳以下の男女で喫煙率が高い。</li> <li>■道・全国と比べ、喫煙率は同水準又は女性で比較的高い。</li> <li>■男性の3分の1は1日平均「20～30本」と最も多い層。「40本以上」が最も多いのは中年期の男性。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性の喫煙率が高い。</li> <li>・中年期男性は1日40本以上など喫煙本数が多い。</li> <li>・未成年に喫煙の実態がある。</li> <li>・地域ぐるみで禁煙・分煙を望む声がある。</li> </ul>	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ぐるみで禁煙・分煙に取り組む</li> </ul> <p>【取組の方向】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●喫煙率を下げる・なくそう <ul style="list-style-type: none"> <li>&gt;住民や家族がすること</li> <li>&gt;町(行政)ですること</li> <li>&gt;団体ですること</li> </ul> </li> <li>●禁煙・分煙場所を増やそう <ul style="list-style-type: none"> <li>&gt;住民や家族がすること</li> <li>&gt;町(行政)ですること</li> <li>&gt;団体ですること</li> </ul> </li> <li>●たばこの害についての知識を広めよう <ul style="list-style-type: none"> <li>&gt;住民や家族がすること</li> <li>&gt;町(行政)ですること</li> <li>&gt;団体ですること</li> </ul> </li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■たばこをやめたい人は男女共に約3割。</li> <li>■44歳以下の女性と65歳以降男性で禁煙希望者が高い。</li> </ul>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>■たばこと健康を考える上で有効な施策は「未成年がたばこを吸わない環境づくり」「歩行中の禁煙推進とポイ捨て禁止」に共感。44歳以下男女は「飲食店の禁煙・分煙」、45～64歳男性は「職場での禁煙・分煙」を支持。</li> </ul>			
中高生	<ul style="list-style-type: none"> <li>■17歳では喫煙経験者は4人に1人。15～18歳の女子で高い。</li> <li>■はじめてたばこを吸った時期は「小学校4年生以下」が最も多い。</li> <li>■たばこの入手方法は「友だちからもらった」が男女ともに最も多く、女子は「家にあるたばこを吸った」も比較的多い。</li> <li>■家族の中にたばこを吸う人がいるのは7割を超える。</li> </ul>		

## [6 アルコール]

アンケートから		課題	目標・取組の方向
成人	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 習慣的な多量飲酒（週3回以上、かつ純アルコールで約60g以上の飲酒）は道とほぼ同水準。</li> <li>■ 「ほとんど毎日飲む」のは中年期以降の男性が多く、飲酒量も多い。</li> <li>■ 1日の適量な酒量は日本酒1合程度ということを知っている住民は6割程度にとどまる。青・壮年期と高齢期の男性で知らない人が多い傾向。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 若者や高齢者に適量のアルコールを知らない人が多い。</li> <li>・ 小学校から飲酒経験がある。3人に1人は経験。</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>	<p><b>【目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 節度ある適度な飲酒を広める</li> </ul> <p><b>【取組の方向】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● アルコールと健康について正しい知識を広め、過度の飲酒者と未成年の飲酒をなくしましょう             <ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; 住民や家族がすること</li> <li>&gt; 町（行政）ですること</li> <li>&gt; 団体ですること</li> </ul> </li> <li>● 節度ある適度な飲酒量を広めましょう             <ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; 住民や家族がすること</li> <li>&gt; 町（行政）ですること</li> <li>&gt; 団体ですること</li> </ul> </li> </ul>
中高生	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 飲酒経験者は男女とも3割。</li> <li>■ 16歳以降では飲酒経験者は40%を超える。</li> <li>■ はじめて酒を飲んだ時期は「中学生になってから」「小学校4年生以下」「小学校5～6年生」の順で続き、低年齢化の傾向。</li> <li>■ 酒の入手方法は「家にあるお酒を飲んだ」が最も多い。</li> <li>■ 約90%は、アルコールの何らかの害を知っている。</li> <li>■ 家族の中に酒を飲む人がいるのは8割。</li> </ul>		

## 【7 歯と口腔】

アンケートから		課題	目標・取組の方向
成人	<p>■歯や口の状態に対する満足度は、中年期で低い傾向。 ◆30歳以降で歯や口に関して悩みがある人の割合は、道と比べて高い水準。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本町では歯や口腔に悩みのある人が多く、口臭に関する悩みが多い。</li> <li>・男性の歯磨き回数が低く、年齢が上がるほど低くなる。</li> <li>・歯科検診の受診率が低く、歯への関心が高くない。</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>	<p><b>【目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に歯や口の健康づくりに取り組む人を増やす</li> </ul> <p><b>【取組の方向】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●定期的な歯科検診を受診する人を増やそう               <ul style="list-style-type: none"> <li>➢住民や家族がすること</li> <li>➢町(行政)ですること</li> <li>➢団体ですること</li> </ul> </li> <li>●歯周病と喫煙の関係など歯と口の知識を広めよう               <ul style="list-style-type: none"> <li>➢住民や家族がすること</li> <li>➢町(行政)ですること</li> <li>➢団体ですること</li> </ul> </li> </ul>
	<p>■1日あたりの歯磨きの回数は道と同水準だが、女性では「1日2回以上」が4分の3を占めるのに対し、男性では「1回」と「2回以上」が拮抗している。</p> <p>■男性の45～64歳と65歳以上は1日「1回」が半数を占める。</p> <p>■現在の自分の歯の本数は道と同水準ではあるが、中年期以降の女性は歯の喪失者が多い。</p> <p>■デンタルフロス、歯間ブラシの使用及び歯科検診受診の割合は、道より低い水準にある。</p>		
中高生	<p>■歯や口の自覚症状がない子どもは4割。4分の1は「むし歯がある」。歯や口の症状があっても3人に1人は歯科医院に行かない。</p> <p>■朝歯磨きする子は9割弱、夜で8割弱、昼で2割強と、昼の歯磨きは少ない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・症状があっても3人に1人は歯医者に行かない。</li> <li>・昼の歯磨きをする子どもは特に少ない。</li> <li>・歯の健康への知識が薄く、関心が高くない。</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>	<p><b>【目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で歯と口の健康に取り組む子どもを増やす</li> </ul> <p><b>【取組の方向】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●歯や口について関心をもつ子どもを増やそう               <ul style="list-style-type: none"> <li>➢住民や家族がすること</li> <li>➢町(行政)ですること</li> <li>➢団体ですること</li> </ul> </li> <li>●歯科検診を進んで受ける子どもを増やそう               <ul style="list-style-type: none"> <li>➢住民や家族がすること</li> <li>➢町(行政)ですること</li> <li>➢団体ですること</li> </ul> </li> </ul>
	<p>■歯の健康に関心があるのは6割弱。関心がない子どもが3分の1を超える。上の年齢ほど歯の健康への関心が低い傾向。</p> <p>■むし歯の予防方法を知らない子どもは半数を超える。上の年齢ほど認識度が低い傾向。</p> <p>■歯の健康が全身の健康に関係あることを知っているのは3割に届かない。</p>		

**[8 健康管理]**

アンケートから		課題	目標・取組の方向																																																													
成人	<ul style="list-style-type: none"> <li>■健診はかかりつけ医で受診する人が半数近くにのぼる。</li> <li>■女性では「町の健診」「自己負担の健診」が比較的多い。</li> <li>■パート等と44歳以下の学生等で「自己管理のみ」が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若年等で健康管理の関心や健診の受診の実践が低い。</li> <li>・健診を受診しない理由は、「面倒」「忙しい」で受診の時間帯を選べることを希望している。</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>	<p><b>【目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康診査やがん検診の受診を促進する</li> </ul> <p><b>【取組の方向】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●健診の受診率をあげよう                             <ul style="list-style-type: none"> <li>&gt;住民や家族がすること</li> <li>&gt;町(行政)ですること</li> <li>&gt;団体ですること</li> </ul> </li> </ul>																																																													
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■健康に関する情報の入手先は圧倒的に「テレビ・ラジオ・新聞」が多い(7割台)。「町の広報紙・パンフレット等」は2割にとどまる。</li> </ul>																																																															
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■健診の受診率は国と同水準だが、44歳以下の女性で低い。</li> <li>■国保の加入者では、未受診者が40.7%、社保の加入者では未受診者が28.4%。</li> <li>■健診受診場所は男性では「職場の健診」、女性では「町が実施する健診」が最も多い。</li> </ul>																																																															
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■受診しない理由は「受けるのが面倒だ」が3割、「仕事が忙しく、時間の都合がつかない」が2割。</li> <li>■44歳以下の男性は「健康に自信がある」「健診を受けても何も変わらない」、45~64歳の男性は「仕事が忙しく、時間の都合がつかない」、45~64歳の女性は「健診結果を知るのが怖い」が比較的多い。管理職等は「仕事が忙しく、時間の都合がつかない」が半数にのぼる。</li> </ul>																																																															
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■受診する条件は「時間帯を選択できる」を半数は挙げる。</li> </ul>																																																															
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■受診しやすい時間帯は、総じて「昼間」が多いが、職業によって様々な時間帯を挙げる。</li> </ul>																																																															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>合計</th> <th>早朝</th> <th>昼間</th> <th>夕方</th> <th>夜間</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全体</td> <td>141</td> <td>17.0</td> <td>37.6</td> <td>17.0</td> <td>19.1</td> <td>4.3</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">就業状況</td> <td>漁業・農業</td> <td>15</td> <td>13.3</td> <td>26.7</td> <td>53.3</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>商・工・サービス業などの自営業主</td> <td>21</td> <td>19.0</td> <td>19.0</td> <td>14.3</td> <td>28.6</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>自由業・自営業(家族従事者含)</td> <td>10</td> <td>30.0</td> <td>30.0</td> <td>0.0</td> <td>20.0</td> <td>10.0</td> </tr> <tr> <td>管理職・正社員等</td> <td>10</td> <td>0.0</td> <td>10.0</td> <td>20.0</td> <td>70.0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>パート・アルバイト・内職等</td> <td>33</td> <td>18.2</td> <td>33.3</td> <td>18.2</td> <td>21.2</td> <td>9.1</td> </tr> <tr> <td>専業主婦・主夫</td> <td>16</td> <td>12.5</td> <td>50.0</td> <td>18.8</td> <td>18.8</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>学生・無職</td> <td>34</td> <td>17.6</td> <td>61.8</td> <td>5.9</td> <td>5.9</td> <td>5.9</td> </tr> </tbody> </table>				合計	早朝	昼間	夕方	夜間	その他	全体	141	17.0	37.6	17.0	19.1	4.3	就業状況	漁業・農業	15	13.3	26.7	53.3	0.0	0.0	商・工・サービス業などの自営業主	21	19.0	19.0	14.3	28.6	0.0	自由業・自営業(家族従事者含)	10	30.0	30.0	0.0	20.0	10.0	管理職・正社員等	10	0.0	10.0	20.0	70.0	0.0	パート・アルバイト・内職等	33	18.2	33.3	18.2	21.2	9.1	専業主婦・主夫	16	12.5	50.0	18.8	18.8	0.0	学生・無職	34	17.6	61.8
	合計	早朝	昼間	夕方	夜間	その他																																																										
全体	141	17.0	37.6	17.0	19.1	4.3																																																										
就業状況	漁業・農業	15	13.3	26.7	53.3	0.0	0.0																																																									
	商・工・サービス業などの自営業主	21	19.0	19.0	14.3	28.6	0.0																																																									
	自由業・自営業(家族従事者含)	10	30.0	30.0	0.0	20.0	10.0																																																									
	管理職・正社員等	10	0.0	10.0	20.0	70.0	0.0																																																									
	パート・アルバイト・内職等	33	18.2	33.3	18.2	21.2	9.1																																																									
	専業主婦・主夫	16	12.5	50.0	18.8	18.8	0.0																																																									
	学生・無職	34	17.6	61.8	5.9	5.9	5.9																																																									

アンケートから		課 題		目標・取組の方向																																																															
<p>■保健指導を受ける場所の希望は、自由業・自営業では「健康づくりセンター」、管理職等では「医療機関」、学生・無職では「近くの会館」を希望。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>合計</th> <th>健康づくりセンター</th> <th>医療機関</th> <th>近くの会館</th> <th>自宅</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全体</td> <td>846</td> <td>37.1</td> <td>22.3</td> <td>20.0</td> <td>11.1</td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">就業状況</td> <td>漁業・農業</td> <td>59</td> <td>20.3</td> <td>18.6</td> <td>35.6</td> <td>10.2</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>商・工・サービス業などの自営業主</td> <td>93</td> <td>38.7</td> <td>23.7</td> <td>16.1</td> <td>12.9</td> <td>1.1</td> </tr> <tr> <td>自由業・自営業(家族従事者含)</td> <td>30</td> <td>50.0</td> <td>23.3</td> <td>10.0</td> <td>10.0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>管理職・正社員等</td> <td>194</td> <td>40.2</td> <td>30.4</td> <td>11.3</td> <td>12.9</td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td>パート・アルバイト・内職等</td> <td>166</td> <td>44.0</td> <td>19.9</td> <td>19.3</td> <td>8.4</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>専業主婦・主夫</td> <td>123</td> <td>39.0</td> <td>17.9</td> <td>21.1</td> <td>13.0</td> <td>1.6</td> </tr> <tr> <td>学生・無職</td> <td>152</td> <td>27.6</td> <td>21.1</td> <td>30.9</td> <td>7.9</td> <td>0.0</td> </tr> </tbody> </table>			合計	健康づくりセンター	医療機関	近くの会館	自宅	その他	全体	846	37.1	22.3	20.0	11.1	0.5	就業状況	漁業・農業	59	20.3	18.6	35.6	10.2	0.0	商・工・サービス業などの自営業主	93	38.7	23.7	16.1	12.9	1.1	自由業・自営業(家族従事者含)	30	50.0	23.3	10.0	10.0	0.0	管理職・正社員等	194	40.2	30.4	11.3	12.9	0.5	パート・アルバイト・内職等	166	44.0	19.9	19.3	8.4	0.0	専業主婦・主夫	123	39.0	17.9	21.1	13.0	1.6	学生・無職	152	27.6	21.1	30.9	7.9	0.0		
	合計	健康づくりセンター	医療機関	近くの会館	自宅	その他																																																													
全体	846	37.1	22.3	20.0	11.1	0.5																																																													
就業状況	漁業・農業	59	20.3	18.6	35.6	10.2	0.0																																																												
	商・工・サービス業などの自営業主	93	38.7	23.7	16.1	12.9	1.1																																																												
	自由業・自営業(家族従事者含)	30	50.0	23.3	10.0	10.0	0.0																																																												
	管理職・正社員等	194	40.2	30.4	11.3	12.9	0.5																																																												
	パート・アルバイト・内職等	166	44.0	19.9	19.3	8.4	0.0																																																												
	専業主婦・主夫	123	39.0	17.9	21.1	13.0	1.6																																																												
	学生・無職	152	27.6	21.1	30.9	7.9	0.0																																																												
<p>■保健指導の希望日程は、自由業・自営業では「平日」、管理職等とパート・アルバイト等では「日曜・祝日」を希望。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>合計</th> <th>平日がよい</th> <th>日曜・祝日がよい</th> <th>いつでもよい</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全体</td> <td>846</td> <td>31.8</td> <td>28.6</td> <td>30.9</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">就業状況</td> <td>漁業・農業</td> <td>59</td> <td>35.6</td> <td>18.6</td> <td>30.5</td> </tr> <tr> <td>商・工・サービス業などの自営業主</td> <td>93</td> <td>31.2</td> <td>33.3</td> <td>30.1</td> </tr> <tr> <td>自由業・自営業(家族従事者含)</td> <td>30</td> <td>60.0</td> <td>13.3</td> <td>20.0</td> </tr> <tr> <td>管理職・正社員等</td> <td>194</td> <td>29.4</td> <td>37.6</td> <td>27.3</td> </tr> <tr> <td>パート・アルバイト・内職等</td> <td>166</td> <td>27.1</td> <td>47.0</td> <td>18.7</td> </tr> <tr> <td>専業主婦・主夫</td> <td>123</td> <td>36.6</td> <td>13.8</td> <td>42.3</td> </tr> <tr> <td>学生・無職</td> <td>152</td> <td>28.3</td> <td>15.8</td> <td>42.1</td> </tr> </tbody> </table>			合計	平日がよい	日曜・祝日がよい	いつでもよい	全体	846	31.8	28.6	30.9	就業状況	漁業・農業	59	35.6	18.6	30.5	商・工・サービス業などの自営業主	93	31.2	33.3	30.1	自由業・自営業(家族従事者含)	30	60.0	13.3	20.0	管理職・正社員等	194	29.4	37.6	27.3	パート・アルバイト・内職等	166	27.1	47.0	18.7	専業主婦・主夫	123	36.6	13.8	42.3	学生・無職	152	28.3	15.8	42.1																				
	合計	平日がよい	日曜・祝日がよい	いつでもよい																																																															
全体	846	31.8	28.6	30.9																																																															
就業状況	漁業・農業	59	35.6	18.6	30.5																																																														
	商・工・サービス業などの自営業主	93	31.2	33.3	30.1																																																														
	自由業・自営業(家族従事者含)	30	60.0	13.3	20.0																																																														
	管理職・正社員等	194	29.4	37.6	27.3																																																														
	パート・アルバイト・内職等	166	27.1	47.0	18.7																																																														
	専業主婦・主夫	123	36.6	13.8	42.3																																																														
	学生・無職	152	28.3	15.8	42.1																																																														

アンケートから		課 題				目標・取組の方向	
<p>■【平日の保健指導の希望時間】</p> <p>全体では“午前中”の希望が最も多いが、自由業・自営業では“午後”が最も多い。パート・アルバイト等では「午後5～7時」にも希望が見られる。</p>							
	合計	午前9～12時	午後1～5時	午後5～7時	午後7時以降		
全体	269	44.2	26.8	13.0	14.5		
就業状況	漁業・農業	21	57.1	33.3	9.5	0.0	
	商・工・サービス業などの自営業主	29	41.4	27.6	17.2	13.8	
	自由業・自営業(家族従事者含)	18	11.1	44.4	16.7	27.8	
	管理職・正社員等	57	28.1	26.3	19.3	24.6	
	パート・アルバイト・内職等	45	35.6	20.0	20.0	22.2	
	専業主婦・主夫	45	60.0	28.9	4.4	6.7	
	学生・無職	43	62.8	23.3	7.0	4.7	
<p>■【日曜・祝日の保健指導の希望時間】</p> <p>全体では“午前中”が最も多いが、自由業・自営業、専業主婦では“午後”が最も多い。漁業・農業では“午後”、商・工・サービス業などの自営業主では「午後7時以降」、学生・無職は“午前中”も“午後”も同率の希望。</p>							
	合計	午前9～12時	午後1～5時	午後5～7時	午後7時以降		
全体	242	47.1	28.1	12.0	7.4		
就業状況	漁業・農業	11	36.4	27.3	27.3	9.1	
	商・工・サービス業などの自営業主	31	45.2	19.4	9.7	19.4	
	自由業・自営業(家族従事者含)	4	25.0	50.0	25.0	0.0	
	管理職・正社員等	73	61.6	20.5	11.0	4.1	
	パート・アルバイト・内職等	78	42.3	29.5	15.4	7.7	
	専業主婦・主夫	17	35.3	52.9	5.9	5.9	
	学生・無職	24	37.5	37.5	4.2	0.0	